

「子育て支援」「医療」「介護」への要望が最多

「苦しくなった」は過半数

「市民アンケート」にご回答いただきありがとうございました。市民の過半数は、暮らし向きがここ数年で「苦しくなった」と回答。「楽になった」人はわずか3%です。(グラフ1)

全世代共通して、社会保険料の負担増、医療費の支出増、消費税などの増税を理由にあげ、30代40代は保育・教育などの支出増を、60代以上は年金の減少を第1にあげています。(グラフ2)

楽ではない生活状況の中で、「子育て支援」「医療」「介護」は市政に対する3大要望となっています。(グラフ3)

市民要望を市長に申し入れ



アンケートに寄せられた皆様の声を「要望書」と「市民アンケート報告集」にまとめて11月29日、福田市長に手渡しました。

子育て支援

「小児医療費助成制度の拡充」「保育園の増設」「保育園保育料の軽減」「幼稚園の入園料・保育料補助」などが要望され、20代は「出産費用補助」が1番に。全世代が「遊び場や公園の整備」を要望しています。

医療、介護

具体的には、「国民健康保険料値下げ」「介護保険料・利用料の軽減」は全世代共通の要望事項です。「特別養護老人ホームの増設」は年代が上がるほど切実になり、50代以上では2番目になっています。

いじめ、奨学金、地震

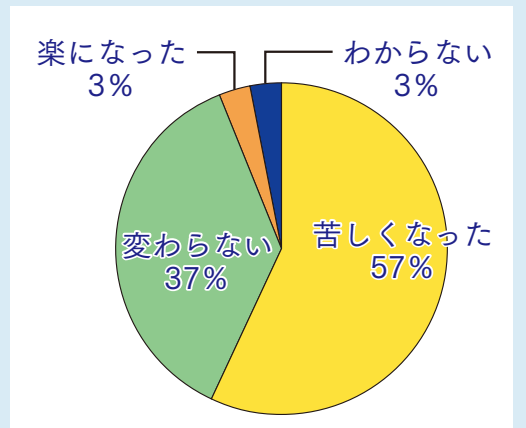
教育環境での「いじめ問題」解決は待ったなしの全世代の要望です。子育て世代にとって「学校給食の無償化」「教育費の保護者負担軽減」「高校生までの医療費無料化」「大学生への給付制奨学金創設」「自立支援」も切実です。まちづくりの「地震防災対策」は全世代共通してトップで、高齢者ほど際立ちます。20代は「若者への家賃補助」も。



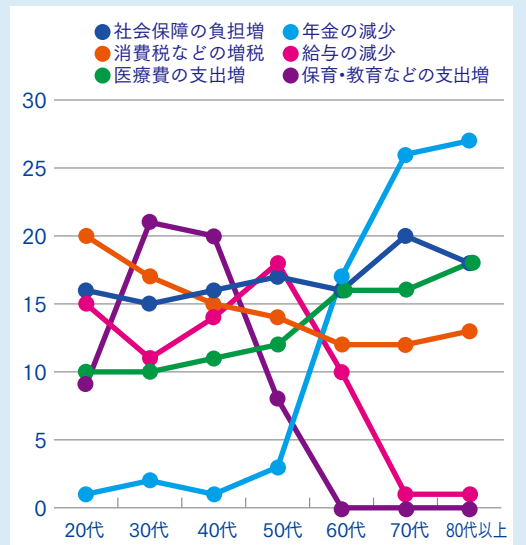
日本共産党は、市民と力をあわせて要望実現にとりくみます。

アンケートの集計結果

1 「毎日の暮らし向きは、ここ数年でどう変わりましたか」への回答



2 「『苦しくなった』理由（複数選択可）」の全体上位6項目の年代別割合



3 「市政で特に力を入れてほしいこと（複数選択可）」の全体上位5項目の年代別割合

